

04 新庁舎建設市民懇話会

構想から建設まで。新庁舎建設に関わるご意見番に聞く

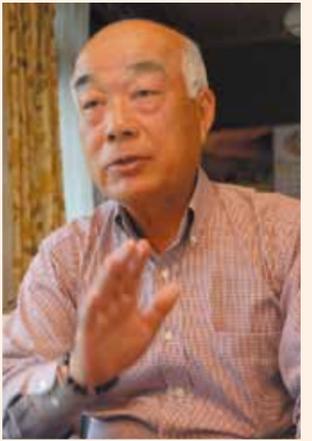
市では、新庁舎の建設を検討するにあたり、市民の皆さんの意見や提案を反映させるため、18人の委員で構成する「小林立新庁舎建設市民懇話会」を設立しました。

この会は、新庁舎建設の基本構想、基本計画、建設に関することを市民の皆さんの意見や要望も踏まえて協議検討し、結果を市長に報告します。昨年12月には、基本構想(案)について報告書を提出しました。そこで、この会の会長を務める小峰實義さんに話を聴きました。

INTERVIEW 新庁舎建設市民懇話会の会長に聴きました

みんな考えて素晴らしい庁舎に

小林市新庁舎建設市民懇話会は、昨年10月14日に市長の委嘱を受け、新庁舎の建設基本構想、基本計画、建設に関することについて、検討協議を行うこととなりました。



こみね みよし 小峰 實義 さん
小林市区長会会長
小林市新庁舎建設懇話会会長

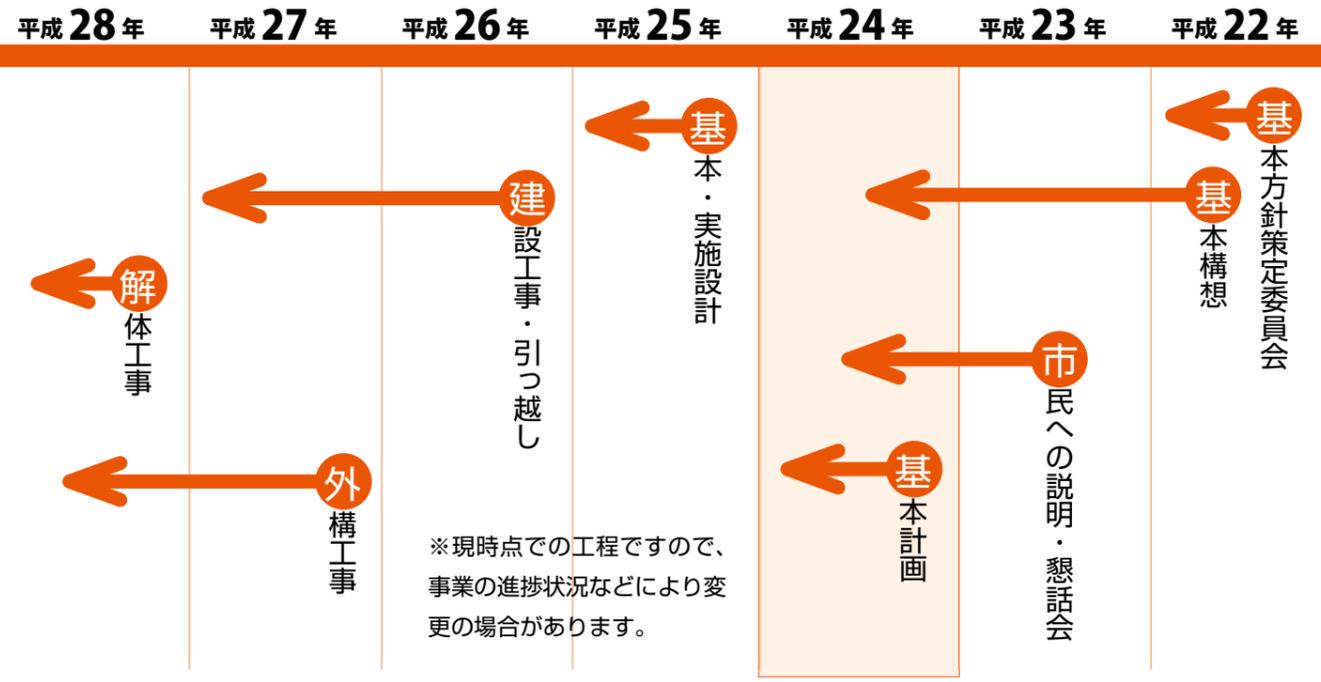
その後、1回目から5回目まで新庁舎建設基本構想(案)について検討を重ね、市が実施した市長と語るまちづくり座談会での新庁舎に関する市民の意見やアンケート結果も踏まえて12月に市長に報告しました。

力抑えるべきですが、将来まで使える庁舎として、市民サービスや必要な行政の機能を果たすための規模は必要と考えます。ですから、財政状況が許す範囲で、市民が必要とする機能も含め、みんなが利用しやすい規模を考えてもらいたいと思います。

また、懇話会ではこのほか、分散している課の本庁への集約や、広い駐車場が必要、誰もが利用しやすいやさしいつくり

05 今後のスケジュール

平成27年度に建設工事完了予定。完成までの工程を見る



※現時点での工程ですので、事業の進捗状況などにより変更場合があります。

共に作り、共に使う庁舎へ

市役所の庁舎は、市民の皆さんが訪れる公共の施設です。そして、まちづくりや防災など安心・安全を担う役割も果たしています。

しかし、現在の市役所本庁舎は建設から48年が経過。引き続きその役割を果たすには、さまざまな問題を抱えています。

市では、今後、この基本構想を具体化する基本計画の策定に着手します。ここで、これまで寄せられた意見も検討していきます。また、計画の案ができた後は、説明会を開くなど、皆さんから意見や要望を聞く場を設けていく予定です。

庁舎は、私たち共有の財産であり、将来にわたって使う施設です。これからできる新庁舎がどうあるべきか、共に作り、共に使うために考えていきましょう。

● 問・総合政策課 TEL 23・0456

新庁舎建設 Q&A

Q1 新庁舎の内容は決定しているの？

A 具体的な内容は、これから基本計画(案)を策定していくなかで市民の皆さんの意見を伺いながら進めていきます。

Q2 補強工事で十分ではないの？

A 仮に補強工事をして、耐用年数が残されていないことから、数年後には再び改築の必要性が出てきます。

Q3 須木庁舎、野尻庁舎の活用は？

A 両庁舎ともに未活用部分などについて有意義に利活用を図れるよう検討しています。

Q4 新庁舎は今の位置ではなく、ほかの場所でもいいのでは？

A 新たな建設予定地を確保し、建設後に現在の敷地を売却することも考えられますが、用地を購入するなど多額の費用が必要になります。また、市街地形成への影響、今ある施設の活用を考えると、現在の庁舎内敷地での建設が望ましいと考えています。

Q5 将来も含めて市民生活を圧迫するのでは？

A 建設には有利な財源として合併特例債の活用を想定しています。また、新庁舎建設を含めた財政計画を作成し、シミュレーションも行いました。今後、なお一層の行政改革推進を図り、財政にできるだけ負担をかけないよう努力していきます。